

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

購入時の取得価額によっている。(償却原価法については、取得価額と債券金額の差額について重要性に乏しいため、適用しておりません。)

(2) リース取引の処理の方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	323,427,900	-	323,427,900	-
投資有価証券	676,572,100	-	676,572,100	-
小 計	1,000,000,000	-	1,000,000,000	-
特定資産				
助成金支払準備金	-	812,476,724	-	812,476,724
小 計	-	812,476,724	1,000,000,000	812,476,724
合 計	1,000,000,000	812,476,724	1,000,000,000	812,476,724

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金	-	(-)	(-)	(-)
投資有価証券	-	(-)	(-)	(-)
小 計	-	(-)	(-)	(-)
特定資産				(-)
助成金支払準備金	812,476,724	(-)	(812,476,724)	
小 計	812,476,724	(-)	(812,476,724)	(-)
合 計	812,476,724	(-)	(812,476,724)	(-)

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄付金	168,700,000
経常外収益への振替額	
基本財産取崩額	1,000,000,000
合 計	1,168,700,000